

開催日時：令和元年5月28日（火）10：00～12：00

開催場所：筑後市総合福祉センター 2階会議室

出席者（事業所）

（教育部会）筑後特別支援学校、ちゃおちゃお、よろず屋、プラム、ちくご、スクールソーシャルワーカー、家庭児童相談室、あおぞら、yellow☆、さくらんぼ、Clear、トワ・エ・モア

（就労部会）わ～よか筑後、デュナミス、プラムの小径、ディアスポラ、筑後市手をつなぐ育成会、ハローワーク八女、和水想、年輪の園、輪、さんふらわあ筑後、はうす、te しごと+te-ら、筑後市役所福祉課、ちくたくネット

今回は、就労部会・教育部会合同開催でした。

障害者就業・生活支援センター「デュナミス」井口氏と、障害者自立訓練サポートセンターわ～よか筑後小塩氏より、障害者の就労支援についての講演をいただき、その後、グループワークを行いました。

講演では、

- ・就職はゴールではなくスタートであり、仕事と生活を両立させていく支援が必要であり、ハローワーク、デュナミス、福祉サービス提供事業所などが連携して支援にあたること。
- ・実際の支援の内容について。
- ・法定雇用率、企業の人手不足もあり、就労についての選択肢はひろがっている。
- ・学生は就職した経験もなく、就職できるのか、どこに課題があるのか知るために、就労アセスメントがある。アセスメントを取ることで卒業後の進路について選択肢が広がる。などの説明を受けました。

その後のグループワークでは、

- ・本人が選択する、考えることができるようになればよい。
 - ・本人や家族へ支援について説明を行うことで、将来の選択肢を広げてほしい。
 - ・放課後等デイサービスで、就労に向けた訓練や、就労先への情報提供、保護者向けの勉強会、卒業後の支援等活動しているところもある。
 - ・幼少期から就労することの喜びが意識付けとして大切。
- 等の意見がでました。

就労・教育部会の合同開催は初めてでしたが、それぞれの役割、支援を知ることができ、お互いにつながりを持つことで、子どもの将来を見据えた支援ができることと思います。

開催日時：令和元年9月6日（金）18：30～20：00

開催場所：筑後市総合福祉センター 2階会議室

出席者（事業所）

教育部会：放課後等デイサービストワエモワ、放課後等デイサービスちゃおちゃお、筑後特別支援学校、スクールソーシャルワーカー、家庭児童相談室、放課後等デイサービスさくらんぼ、筑後市教育支援教室スマイル、筑後中学校、筑後小学校、西牟田小学校、二川小学校、福祉課、相談支援事業所ちくたくネット

相談支援部会：県南障害者サポートセンター、ちくたくネット、相談支援事業所ねんりん、相談支援事業所ちゃおちゃお、八女地区障害者支援地域生活支援拠点センターすいれん、福祉課、相談支援事業所ちくたくネット、事務局

今回は、教育部会・相談支援部会合同開催でした。

開催時間をあえて遅くし市内の児童系サービス事業所だけでなく地域の小学校・中学校の先生方にも参加して頂きました。顔の見える関係作りの第一歩としてまずは自己紹介をしました。その中ではそれぞれの事業所の紹介やサービス内容、また専門性などの説明をしていただきました。その後、筑後市教育支援教室「スマイル」との関わりがあった児童の事例紹介をしていただき、それぞれ思うことを参加者全員に発表してもらいました。

参加された方からは、こんなサービス事業所があることを知らなかった、顔合わせができてよかった、事業所との連携を定期的に設定してほしい、現場の先生の声を知ることができ大変よかった、お互いの機関を知る、担当者と知り合える機会なのでまた企画してほしいとの意見がありました。今後も、地域で支援していけるよう様々な機関との連携を強化していけたらと思いました。今回、参加して頂いた事業所の皆様、先生方ありがとうございました。



開催日時：令和元年 11 月 27 日（水）9：00～10：30

開催場所：筑後市中央公民館サンコア 2階第6講習室

出席者（事業所）

教育部会：放課後等デイサービストワ・エ・モワ、放課後等デイサービスちゃおちゃお、放課後等デイサービス yellow、筑後特別支援学校、筑後市教育委員会、スクールソーシャルワーカー、家庭児童相談室、放課後等デイサービスさくらんぼ、放課後等デイサービス clear、児童発達支援未来塾、筑後市教育支援教室スマイル、発達障害障害者支援センターあおぞら、福祉課、相談支援事業所ちくたくネット

相談支援部会：相談支援事業所ねんりん、相談支援事業所ちゃおちゃお、相談支援事業所プラム、ちくご、八女地区障害者支援地域生活支援拠点センターすいれん、相談支援事業所ちくたくネット

就労部会：障害者就業・生活支援センターデュナミス、就労移行支援事業所わーよか筑後、就労継続支援 A 型事業所ルパン、就労継続支援 A 型事業所和水想、就労継続支援 A 型事業所さんふらわあ筑後 その他：学童保育支援員

今回は、研修会ということで教育部会だけでなく他の部会や筑後市の学童保育支援員の方など 57 名の参加でした。

西南女学院大学福祉学科で講師をされている高口恵美先生に「気になる子どもや保護者につながる支援」という内容で講演をしていただきました。子ども達が置かれている状況や支援を必要としている子ども達の背景をアセスメントすることが大事である。子ども達との関わりで大切なポイントは受容・傾聴・共感であるが、共感と同情を一緒にしないことが大切とのことでした。保護者と向き合うポイントは、前もって情報を伝え共有する、先手の対応や保護者の状況や背景をアセスメントし親の想いに寄り添うこと、またトラブル時は第三者を入れたチーム支援や「事実」と「感情」を整理して傾聴する客観性が大事だとのことでした。参加者の方からは、とても参考になった、実践していきたい、自分を振り返るいい機会になったとの声がありました。



開催日時：令和2年1月23日（水）18：30～20：00

開催場所：筑後市中央公民館サンコア 2階第5講習室

出席者（事業所）

放課後等デイサービストワ・エ・モワ、放課後等デイサービスちやおちやお、筑後特別支援学校、スクールソーシャルワーカー、家庭児童相談室、放課後等デイサービスさくらんぼ、放課後等デイサービス clear、児童発達支援未来塾、発達障害障害者支援センターあおぞら、相談支援事業所ねんりん、相談支援事業所ちやおちやお、相談支援事業所プラム、ちくご、筑後中学校、筑後小学校、西牟田小学校、羽犬塚小学校、福祉課、相談支援事業所ちくたくネット

今年度2回目となる地域の小学校・中学校の先生方に参加して頂き部会を開催しました。

小学校就学前に小学校と情報共有を行った事例と母が抱える不安を軽減するため、学校と情報共有し支援を行った事例発表をそれぞれの担当相談員から行いました。事例を通して関係機関との連携や振り返り、今後の課題についてのお話がありました。参加者から活発に質問があり、筑後市の就学前相談について教育機関より説明していただきました。また他市町村の就学前相談のシステムについても参加者より説明していただきました。

その後4つのグループに分かれ、教育と福祉サービスの連携についてというテーマでグループワークを行いました。各グループで活発な意見交換がされていました。その中で実際に学校で生徒をとりまく関係機関で情報共有し、連携しその効果について実感できたとお話がありました。

先生方や参加者の方からは、「とても参考になった」、「ケースの共有や日頃の疑問を質問し有意義な時間になった」、「学校含め関係機関が顔を合わせることは大事だと感じた」との声がありました。

今後も筑後市地域自立支援協議会教育部会では、地域の学校の先生方との連携や顔の見える関係作りをさらに強化できるよう部会を開催できればと思います。